

令和5年度 事業計画

施設名 特別養護老人ホーム土浦晴山苑

所在地 茨城県土浦市田村町2321-5

所 管 事 業		定員	休業日
事 業 名	入所事業	70名	無
	短期入所事業	20名	無
	通所事業	30名/20名(日)	無

1 本年度の基本方針

法人の基本方針を具現化するため、特養・短期・通所の各事業所の運営の効率化を図るとともに、それぞれの事業所が有する機能を十分に活かしながら、地域に信頼される施設運営に努め、住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう、地域と連携しながら生活支援サービスを提供する。

2 職員体制

事業所	職 種	常 勤	非 常 勤
管 理 者	施設長	1名	
	事務次長	1名	
特別養護老人ホーム (短期入所事業含む)	ケアワーカー長		
	生活相談員	2名	
	介護支援専門員		1名
	介護職員	31名	13名
	看護職員	3名	2名
	理学療法士		
	作業療法士		
	事務職員	2名	1名
	管理栄養士	1名	
	介護補助員		1名
	運転手・他		7名
	洗濯場職員		2名
通所介護事業所	管理者（施設長兼務）	1名（施設長兼務）	
	理学療法士	1名	
	生活相談員	2名（1名介護職兼務）	
	看護職員	2名	
	介護職員	5名	3名
	運転手・他		3名
合 計		50名（1名兼務）	33名

3-1 事業名

入所事業

定員 70名

【本事業のミッション】

・ご利用者の意思、人格を尊重し、常にその立場に立ってサービスを行うよう努める。
 ・地域社会への貢献を使命とし、当苑が包括支援システムで位置づけられている「重度者向けの住まい」として、生活支援・介護・看護が連帯したサービスを提供する特養として使命を果たし、地域を基盤とした包括的支援を強化する。

【令和5年度を取組目標】

・令和4年度は、退所から新たな入所までの一定の期間が空床となり、その稼働率が減少したことを踏まえ、令和5年度は入退所時期の判断を適切に行うとともに待機者の確保を確実なものにし、収入の安定化を図る。

【重点目標】

◆目標利用率

	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
入所	96.3%	97.5%	96.6%	96.8%

◆利用者支援サービスの充実

・新型コロナ、インフルエンザ等の感染症対策の研修や演習を行い、職員への感染予防の徹底を促す。
 ・ご利用者にかかる日常の健康確認と年1回の健康診断、さらに介護職員、ケアマネージャー、管理栄養士と連携を図り、体調不良の早期発見、早期対応に努める。
 ・ご利用者の嗜好を把握し、地元食材を積極的に取り入れ、日々の状況に合った食事を提供するよう努める。

◆コンプライアンス計画

・法令や法人の規程を遵守し、職員のコンプライアンス意識を高める研修を開催する。
 ・社会福祉法人としての責任を自覚し、公益性・透明性を確保し、健全な施設運営を行う。

◆人材育成と職場環境の整備

・内部・外部の各種研修に参加し、専門的知識、技術を身に着ける。
 ・2024年4月からの認知症介護基礎研修完全義務化に備えるため、無資格の介護職への計画的な受講および勤務に配慮した資格取得支援を行う。

◆財務基盤強化への取組

・予算管理を徹底し、稼働率の向上およびコスト意識を高め、経費の削減に全職員が取り組む。
 ・時間外手当10.0%削減目標必達のため、ICTの積極的活用による業務の効率化および感染症対策の徹底を図る。
 ・適材適所の異動・配置を行い、生産性向上や特養事業所全体の活性化を促し、稼働率目標の達成を目指す。
 ・おむつの購入の見直しなどスケールメリットの有効活用を通じた財務基盤の安定化を図る。

【施設・設備整備計画】

整備内容	整備時期	金額（千円）
PAS更新工事（地絡継電器付高圧気中負荷開閉器）	令和5年5月～9月	605
非常用発電機 蓄電池交換及び塗装補修	令和5年4月～令和6年3月	1,620
ユニット内照明器具(20か所)	令和5年5月～9月	770

3-2 事業名

短期入所事業

定員 20名

【本事業のミッション】

特別養護老人ホーム・短期入所事業・通所介護事業の一体的運営を利点として、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送ることができるよう「住まい・医療・介護・予防・生活支援」を包括的、一体的に提供する体制を講じる。

【令和5年度の取組目標】

- ・生活相談員2名体制により、営業体制の強化を図るとともにご利用者やご家族からのニーズを常時把握可能な環境に整え、円滑かつ迅速な対応を行う。
- ・収入の安定化を図るため、施設長を中心としたチーム営業を行い、取引実績のある医療機関および居宅介護支援事業所への挨拶周りを通じた関係づくり、さらに新規開拓を行いながら他施設との差別化を図った営業活動を実践する。

【重点目標】

◆目標利用率

	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
短期入所	92.9%	89.5%	62.3%	87.5%

◆利用者支援サービスの充実

- ・地域社会への貢献は当苑の掲げた目標の一つである。「食から元気」をキャッチワードとし、地産地消の考え方を大切に、可能な限り地場の食材を用いる。地場の旬の食材を使った地域の食文化を感じる献立を特徴とし、他施設との差別化を図る。
- ・競合する土浦市およびその周辺地域のサービスとの差別化を図るため、多様化するニーズに柔軟に対応する。
- ・併設事業所の強みを活かし、当苑の通所介護事業所と連携してご利用者の情報を共有し、ご利用者、ご家族が必要とするサービスを一体的に提供する。

◆コンプライアンス計画

- ・法令や法人の規程を遵守し、職員のコンプライアンス意識を高める研修を開催する。
- ・社会福祉法人としての責任を自覚し、公益性・透明性を確保し、健全な施設運営を行う。

◆人材育成と職場環境の整備

- ・内部・外部の各種研修に参加し、専門的知識、技術を身に着ける。
- ・2024年4月からの認知症介護基礎研修完全義務化に備えるため、無資格の介護職への計画的な受講および勤務に配慮した資格取得支援を行う。

◆財務基盤強化への取組

- ・予算管理を徹底し、稼働率の向上およびコスト意識を高め、経費の削減を全職員が取り組む。
- ・時間外手当10.0%削減目標必達のため、ICTの積極的活用による業務の効率化および感染症対策の徹底を図る。
- ・適材適所の異動・配置を行い、生産性向上や短期入所事業所全体の活性化を促し、稼働率目標の達成を目指す。
- ・おむつの購入の見直しなどスケールメリットの有効活用を通じた財務基盤の安定化を図る。

【施設・設備整備計画】

令和5年度は実施の計画はありません。

3-3 事業名

通所介護事業

定員 30名 / 20名(日曜日)

【本事業のミッション】

- ・日頃からの感染症予防対策および感染症発症時の拡大防止の徹底を図り、ご利用者が笑顔で過ごせるよう、機能訓練やレクリエーションについて特色あるサービスを提供する。
- ・住み慣れた地域、自宅で安心した生活が送れるよう介護支援専門員、ご利用者、ご家族、関係機関と連携しながら、実態に沿ったサービスを提供する。

【令和5年度を取組目標】

- ・「目配り」「気配り」を大切に「また来たい」と思えるサービスを提供する。
- ・多職種との連携による個別支援を強化する。
- ・「条件なしの受入」を踏まえ、居宅介護支援事業所や病院の地域連携室など関係機関と連携し、利用者獲得に努める。

【重点目標】

◆目標利用率

	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
通所介護	81.3%	76.8%	68.8%	80.0%

◆利用者支援サービスの充実

- ・低栄養リスクのあるご利用者について、管理栄養士が中心となり、摂食・嚥下機能および食形態に配慮し、栄養状態に関する課題の把握を行い、多職種共同で栄養管理上の課題に取り組む。
- ・内部・外部研修で習得した感染症対策を徹底する。
- ・併設事業所の強みを活かし、当苑の短期入所事業所と連携してご利用者の情報を共有化し、ご利用者、ご家族が必要とするサービスを一体的に提供する。

◆コンプライアンス計画

- ・法令や法人の規程を遵守し、職員のコンプライアンス意識を高める研修を開催する。
- ・社会福祉法人としての責任を自覚し、公益性・透明性を確保し、健全な施設運営を行う。

◆人材育成と職場環境の整備

- ・新型コロナ、インフルエンザ等の感染症対策の研修や演習を行い、職員への感染予防の徹底を促す。
- ・内部・外部研修に参加し、感染症対策の知識と対応の理解、また、レクリエーション知識や介護技術、認知症の理解を深め、サービスの質を高める。

◆財務基盤強化への取組

- ・予算管理を徹底し、稼働率の向上およびコスト意識を高め、経費の削減を全職員が取り組む。
- ・時間外手当10%削減目標必達のため、業務の効率化および感染症対策の徹底を図る。
- ・適材適所の異動・配置を行い、生産性向上や通所介護事業所全体の活性化を促し、稼働率目標の達成を目指す。
- ・当事業所のガソリン代削減のため、送迎ルートの見直しを行い、安全走行が可能な最短ルートによる送迎を行う。

【施設・設備整備計画】

令和5年度は実施の計画はありません。